

壁新聞にご利用ください。



発行
公益社団法人
横浜港防犯協会
横浜市中区海岸通1-1
電話 (201) 2982番
印刷所 (有) ハマ印刷
TEL (260) 0266

新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協会
会長 藤木 幸太



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様、横浜水上警察署並びに関係諸団体の皆様方におかれましては、健康やかに新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。日頃より当防犯協会の運営にご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

横浜港防犯協会は昭和二十二年六月に、横浜港の治安確保を目的として設立され、同年十二月に社団法人の認可を頂戴いたしました。以来六十六年間に亘り、横浜港において、防犯活動を積極的に展開して参りました。防犯協会連合会等の県単位の防犯団体を除き、地区防犯協会としては、当防犯協会は全国で唯一の社団法人資格を有した団体です。従来の公益法人制度が時代の変化にそぐわなくなり、平成二十二年十二月から公益法人改革が実施され、当協会も「公益社団法人」又は「一般社団法人」へ組織変更を求められておりました。この度、会員の皆様のご尽力により築き上げられた組織と永年の防犯活動の実績を高く評価いただき、「公益社団法人」への移行認定を受ける事が出来ました。此れも偏に、会員企業並びに個人会員の皆様のご支援の賜物で御座います。心より御礼申し上げます。

への移行は、昨年九月の移行認定、十二月の移行登記と順調に移行作業が進んでおります。移行諸手続は勿論、移行後の防犯協会の運営に遺漏なき様努力いたしますので、各位におかれましては、更に一層のご支援を賜ります様お願い申し上げます。さて、昨年はバシフィコにおいて、第五回アフリカ開発会議が無事に開催し、横浜の治安の良さを更に世界にアピールする事ができました。しかし、昨年の県下刑法犯認知件数は残念ながら前年比で若干の増加と成りました。平成十四年をピークに、一昨年から十年以上毎年連続して減少し、ピーク時との比較で認知件数を半分以上に抑えられている状況下で犯罪抑止を実現いたしましたことが、その境界点に近づいた様です。昨年は国際観光客が年間一千万人を初めて超え、国内では、みなとみらい線・東急東横線、の埼玉方面との直通運行の開始により、観光資源の豊かな横浜への観光客が増加しております。ミナト横浜も新たな時代を迎え、赤レンガ倉庫・新港地区での観光・買物客の増加が顕著となり、置引き・万引き等の犯罪が増加傾向に有ります。当防犯協会も従来から横浜水上警察署・中区役所・防犯ボランティア諸団体と緊密に連携して、犯罪抑止に取組んでまいりましたが、新たな状況の変化に対応して、更に「犯罪に強いミナト・街づくり」を推進して参ります。何卒、関係各位のご支援、ご協力を本年も賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、皆様の御健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
田口 靖



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様方におかれましては、ご家族共々輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。皆様には、平素から地域安全活動をはじめ、警察行政全般にわたりまして多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年の治安情勢を振り返って見ますと、県下の刑法犯の認知件数がプラスに転じ、振り込め詐欺、ひったくり、性犯罪が増加するなど体感治安に大きく影響し、厳しい治安情勢でありました。特に、振り込め詐欺については、昨年と比較して発生件数、被害額とも一昨年に比べ倍増するなど、大変危惧している状態です。幸いに当署管内におきましては、昨年、この種の事件の発生はありませんでした。アベノミクス効果や影響もあり、一昨年に比べ、観光客を含め当署管内を訪れる方が増加しております。また、週末や連休中、各種イベントでの集客もあいまって、商業施設を中心に各店舗やゲームセンターなどでの「万引き」や「置引き」等の窃盗事件が多発しました。昨年の六月には五年振りに、みな

とみらい地区で「第五回アフリカ開発会議」が開催され、我が国の関係をはじめ、外国要人が集結したことで大きな注目を浴びました。当署もこの会議の会場に隣接している警察署として署員一丸となって警備に従事し、皆さんのお力添えを得て、その目的を達成することができました。更に、昨年九月に二〇二〇年の東京オリンピック開催が決定し、「おもてなし」の言葉とともに、経済活動がますます活性化し、このミナトヨコハマもその影響を大きく受けるものと思えます。今年も、これらの影響も含め、新港地区や大根橋地区等で多くのイベントが開催され、県内外から多くの観光客や買い物客が訪れます。これに伴って、各種事件事故の発生が予想されるところであります。したがって、今後も更に、当署と公益社団法人横浜港防犯協会を中心としたボランティア団体との結束を強固なものとし、「犯罪のない明るい港づくり」に邁進する所存でありますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、横浜港防犯協会の皆様方のご発展と会員皆様方のご家族、従業員の方々の健康と多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
鎌田 庄平



新年明けまして、おめでとうございます。横浜港防犯協会会員の皆様には、明るい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。会員の皆様からは平素より税関行政、特に船陸交通制度などの監視行政に多大のご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。さて、昨今、覚せい剤や脱法ドラッグなどの不正薬物に絡む事件が社会

的な問題となっており、また、コピー商品などの知的財産権侵害物品の密輸入、盗難自動車等の密輸出なども問題となっております。このような情勢の中、税関が行うべき取締対象は大きく広がっており、水際での取締りの重要性を鑑みますと、税関の責務を強く感じ、年頭にあたり身の引き締まる思いであります。昨年の横浜港での摘発状況を見ますと、昨年三月に本牧埠頭に入港したコンテナ船の貨物から覚せい剤約二四〇kgが、また十月に大さん橋国際客船ターミナルに入港した客船の旅客の荷物から大麻草約六gが摘発されており、これらの他にも、コピー商品の密輸入、盗難自動車の密輸出なども摘発されており、横浜港においても密輸入等の危険性は依然としてあると考えざるを得ない状況です。横浜税関では、この状況に対応するために、警察、海上保安部等の取締関係機関との連携を強化して取締を行う方針ですが、取締りを効果的にを行うには国民の皆様からの情報の提供が何より重要と考えております。特に会員の皆様方は、日頃、横浜港でお仕事をされている方々、横浜港に深く関係されている方々も多く、聞いておられます。お仕事の際に、不審な人物・車両を見られた時、不審な情報をお聞かせされた時などは、ぜひ、この税関でも結構ですので、ご一報していただきますようお願い申し上げます。最後となりましたが、年頭に当たり、横浜港防犯協会会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
中島 泰雄



新年明けまして、おめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様におかれ

ましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には、平素より横浜港の振興、発展にご協力を賜りますとともに、防犯キャンペーン、年末の夜間合同パトロール、横浜港内の犯罪防止に係る広報巡回活動など、港における各種防犯活動と、安全、安心な港づくりにご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。国際コンテナ戦略港湾である横浜港は、この間、先進的な施設整備や横浜港埠頭株式会社と連携した貨物集荷策など国際競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。具体的には、コンテナ船の大型化が進行する中、先進的な施設整備として、南本牧埠頭においては、新たにMC4ターミナルの整備に着手しました。本牧埠頭では、D4ターミナルの拡張再整備を行い、昨年末には大半を供用した大型船の受入れ体制を整えています。さらに、南本牧埠頭と首都高道路を直結させる南本牧埠頭連絡臨港道路等の整備を進めており、交通ネットワークの充実、強化にも取り組んでまいりました。また、港の保安・安全対策では、本年七月からゲートにおける入場者の身分照会等の三点確認が義務付けられ、SOLAS制限区域への出入管理が強化されることとなっております。併せて、港湾における防犯・災害対策を推進し、さらなる安全安心な港づくりを進めていきます。横浜港は、クルーズボートとしても大きな役割を果たしています。平成二十五年の日本客船と外国客船を合わせた客船寄港数は、横浜港大さん橋国際客船ターミナルのリニューアル後はじめて一五〇隻を超え、十一年連続の日本一となりました。しかしながら、昨年十月には、大さん橋国際客船ターミナルに停泊中の外国客船から下船した日本人旅客による大麻密輸事件が税関検査で発覚、摘発されるなど、港の安全、保安をめぐる環境も厳しさを増しており、そうした中では、関係機関が連携し、より一層の綿密な取組が求められております。今後とも連携を強化し、安全で安心な港づくりの推進に尽力してまいりますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。最後に申し上げますが、横浜港防犯協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けまして、おめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様におかれましては、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、横浜港防犯協会は日頃より犯罪防止のため広報、啓発活動、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、横浜港内の安全、安心等の防犯対策諸活動の推進に多大な貢献をされていることに感謝と敬意を表する次第でございます。特に昨年はアフリカ五十一ヶ国、三十五ヶ国のパトナー諸国、七十四の国際機関など約四、五〇〇名以上が参加した国内最大級の国際会議「第五回アフリカ開発会議」が開催され、無事終了できましたのも皆様の尽力の賜物であります。横浜は、日本の海の玄関口であり国内外の大型豪華客船などが寄港する大根橋国際客船ターミナル、また複合型商業施設のワールドポーターズや横浜赤レンガ倉庫、昨年六月にみなとみらい地区最大級の商業施設「マークイズみなとみらい」等も誕生し、年々開発が進み観光客も増加する中、横浜国際女子マラソンや世界トライアスロンシリーズ横浜大会等の各種イベントも開催され、年間を通して国際色豊かなにぎわいをみせております。横浜港防犯協会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

横浜水上警察署管内では、平成十九年一月から「交通死亡事故ゼロ」を継続しており、昨年十二月一日現在で連続二、五八日となりました。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長 高橋 幹雄



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、横浜港防犯協会は日頃より犯罪防止のため広報、啓発活動、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、横浜港内の安全、安心等の防犯対策諸活動の推進に多大な貢献をされていることに感謝と敬意を表する次第でございます。特に昨年はアフリカ五十一ヶ国、三十五ヶ国のパトナー諸国、七十四の国際機関など約四、五〇〇名以上が参加した国内最大級の国際会議「第五回アフリカ開発会議」が開催され、無事終了できましたのも皆様の尽力の賜物であります。横浜は、日本の海の玄関口であり国内外の大型豪華客船などが寄港する大根橋国際客船ターミナル、また複合型商業施設のワールドポーターズや横浜赤レンガ倉庫、昨年六月にみなとみらい地区最大級の商業施設「マークイズみなとみらい」等も誕生し、年々開発が進み観光客も増加する中、横浜国際女子マラソンや世界トライアスロンシリーズ横浜大会等の各種イベントも開催され、年間を通して国際色豊かなにぎわいをみせております。横浜港防犯協会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

壁新聞にご利用ください。

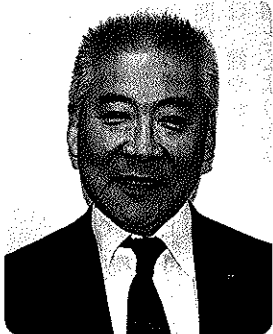
その連続記録を絶やさないために、横浜水上警察署として万全の対策で望んでいただくことや、会員の皆様方の熱心なるご協力が必要とされます。

横浜水上交通安全協会といたしましては、交通安全を主として、横浜港防犯協力会はもとより、県、市、中区、警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、より一層交通安全意識の普及と、交通事故防止運動を積極的に努めてまいりたいと考えておりますので、旧年にも倍して皆様方のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員皆様のご健康心から折念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市中区長 三上 章彦



新年あけましておめでとうございます。藤本会長をはじめ、横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、平素から中区政に多大なるご支援とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。また、横浜港周辺の安全・安心の推進に力を尽くされていることに対し、深く感謝申し上げます。

皆様の活動地域は、横浜の「顔」ともいえるべき、臨海エリアであり、山下公園や新港地区といった有数の観光スポットを擁しております。昨年は皆様のおかげをもってアフリカ各国の要人や国際機関の代表等が一堂に会した「アフリカ開発会議」を無事開催することができました。また、「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」「横浜国際女子マラソン」といったスポーツイベントをはじめ、大型イベントが多数実施され、外国からのお客様も含め、多くの来街者で賑わいました。その間、大きな事故もなく開催することができました。

したことは、皆様が目覚めから犯罪防止のための広報・啓発活動や各種防犯活動に積極的に取り組まれ、犯罪の無い明るい港づくりに努力されていることの賜物です。横浜港を熟知している皆様のお力こそが「明るい港」のイメージアップにもつながっていると考えております。

今年も横浜港大さん橋国際客船ターミナルには、外国客船による横浜発着のクルーズ船が多数予定され、アジアクルーズの拠点港としての利用が定着してきており、多くの来客が見込まれます。また、「横浜マラソン」は平成二十七年三月に本市初の市民参加型フルマラソンとしての開催が計画されており、ますますの賑わいが生まれる地域となつてきます。訪れる方々や市民の皆様を「おもてなし」の心を持って迎えたいと、横浜港の「顔」として、また来たてみたい港町だ」と感じているだけに、中区としましては皆様の力を合わせ世界に誇れる街を目指し取り組んでまいります。今後ともご協力をお願いいたします。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健康を心からお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長 中川 高史



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。

また、会員の皆様には平素より、海上保安業務に対し深いご理解とご協力、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて昨年、横浜港では六月に横浜市臨海部に位置するパシフィコ横浜において「第五回アフリカ開発会議」が開催されました。この会議にはアフリカ諸国五十一か国の元首・首脳、国際機関の代表、内閣総理大臣、関係閣僚等が出席され、野口英世国際会議場で開催された「野口英世アフリカ賞授賞式及び記念晩餐会」には天皇皇后両陛下がご臨席され、横浜海上保安部は巡視船延べ約九十隻海上保安官約一、二〇〇人を投入し無事警備を終了することができました。

この会議の成功は、横浜港が安全で安心できる港であることを世界に発信したものであり、横浜市民、事業者、関係機関等皆様の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

このほかにも横浜港では水際における薬物・銃器等の密輸入、密入国者の阻止や国際テロ対策等に官民一体となつて取り組んで参りました。一方、広く我が国周辺海域に目を向けて見ますと、昨年十二月には小笠原諸島周辺の我が国排他的経済水域で巡視船「しきしま」が台湾漁船を不法操業の容疑で捕獲し船長を逮捕しております。沖縄尖閣諸島等の海域は依然厳しい情勢が続いており、横浜海上保安部の巡視船も長期間派遣して対応しているところであります。

本年もこのような厳しい情勢が予想されますが、横浜海上保安部では新たな体制を整備されました。昨年ジャパンマリンユニテッド横浜事業所磯子工場で最大級最新鋭のヘリコプター二機搭載型巡視船「あきつしま」が建造され十一月に就役しました。また、昨年十月には建造後二十五五年になるヘリコプター二機搭載型巡視船「やしま」が福岡海上保安部に配備替えになり、十二月には鹿児島島の指宿海上保安署から中型の巡視船「つるみ」が横浜に配属されました。更には今年度内に小型の高速巡視艇「いそづき」が横浜に誕生する予定です。

このような新たな体制のもと、本年もテロ対策の推進、密入国・覚せい剤密輸の阻止に努め、「安心、安全な港づくり」に邁進いたす所存でありますので、今後とも皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健康並びに、本年が素晴らしい一年になることを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜港運協会 会長 藤本 幸夫



港湾人の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は我が国の政権が交代し、安倍首相の基本政策（アベノミクス）が実行され、明るい兆しも出て来たように感じられます。さらに、三浦雄一郎さんが史上最高齢でエベレスト登頂に成功し、九月には七年後の東京オリンピック開催が決まりました。このように二〇一三年は元気が出るうれしいことが沢山起こった良い年でした。しかし、福島原発事故の後処理が未だ遅々として進まなかったり、高濃度汚染水漏れが判明したり、JR北海道ではレール異常放置が発覚したり、さらに我が国を代表するホテルの高級レストランで、海外ではアルジェリアのプラントで日本技術者がテロに巻き込まれて人質にされ、十名に上る死傷者が発生したり、未だに中国とわが国の間で尖閣諸島の領有権問題が解決に至るどころか尖閣諸島を含む防空識別圏を設定するなど大きな不安も増えました。

世界的には、シリア内紛では化学兵器の国連による一掃が始まるなど取捨にむけた取り組みが始まりました。中東におけるイスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区との間で紛争も絶えず続いています。さらにアラブ諸国では不安定な政治情勢が続いています。北朝鮮ではトランプが交代しましたが相変わらず拉致問題は解決の糸口さえつかめていません。このように世界を見回しても、国同紛争、国内紛争、世界的金融恐慌の継続など、不安定要素が大きくなっています。まさに混沌と混乱の時代の真最中にあると言っても良いでしょう。

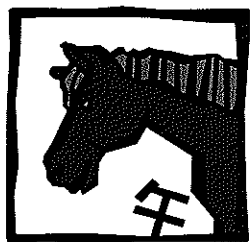
一方、横浜港の方に目を向けてみると、横浜税関所管内で、違法薬物の密輸・商標権侵害物品の密輸などの五件の密輸事犯が発生しています。さらに、十一月には、横須賀・葉山海岸で合計一二〇kgに及ぶ前代未聞の大量の覚せい剤が海岸に打ち上げられるなど、密輸未遂事件が発生しています。港湾を守る我々も、社会悪物を水際で止めることに積極的に協力をして行かねばなりません。

二〇一一年に発生した大震災・福島原発事故による多大な被害は三年近く経過した今でも本格的復興には至っていません。また、気象庁・国の発表によれば、さらに東南海域などでの連鎖したM9クラスの南海トラフ巨大地震の発生が予測されています。港においては地震に続く津波にも警戒しなければなりません。絶えず警戒を怠ってはいけない状況に変わりはないということです。このような状況下、「グラツ」ときたら「FMヨコハマ」をキャッチフレーズに当協会とFMヨコハマが協力して災害時専用の携帯ラジオを有料配布してまいります。港湾人の皆さん、日頃から携帯し、地震が発生したら、スイッチを入れて情報を収集し、素早く命を守る適切な対応をして下さい。

今、日本中、いや世界中が不安なことが増え、地球全体が安定を失ってきています。横浜港を取り巻く環境も例外ではありません。このような時勢だからこそ自分たちを安全に保つにはまず自分で守ることが基本です。普段からの防犯・防災の気構えと準備こそが重要です。

本年も横浜港保安協会、横浜港防犯協力会、さらに神奈川県警察本部、横浜海上保安部、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となつて「みなと横浜」を守って行くことを願います。

横浜港湾人の皆さん、安全安心な横浜港構築に寄与していこうではありませんか。是非皆ご協力をお願いすると共に、本年の皆様のご多幸とご健康を祈念致します。



謹賀新年

公益社団法人 横浜港防犯協力会



個人賛助会員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 藤本 幸夫 | 田端 彰 | 花島 孝明 | 藤木 幸太 | 原田 龍次郎 | 酒井 英治 | 笹田 照近 | 今田 幸仁 | 井上 宏 | 榎原 啓二 | 吉岡 利夫 | 岩田 幸久 | 福田 賢治 | 外園 孝裕 | 鈴江 克枝 | 菅井 幸三 | 藤木 誠司 | 小林 義実 | 坂上 孝勝 | 齋藤 幸夫 | 三尾 靖 | 田口 章彦 | 西村 亮介 | 田丸 祐一 | 藤木 幸太 | 小林 誠司 | 野田 秀夫 | 松本 雅巳 | 片倉 宏昭 | 武居 大輔 | 坂上 実 |
|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。(編集部)